



循環型社会へのチャレンジ

C S R
報告書

2019

株式会社横山サポートテック

挑戦する気持ち、そしてアクション

常に向上心を持ち、新しい知識、技術を吸収しよう。
お客様の役に立つにはまず自身のスキルアップから。

目次

■ トップインタビュー -----	3
■ 会社概要 -----	5
■ 会社の歴史 -----	6
■ 環境マネジメント -----	7
■ 環境へのかかわり -----	9
■ 環境への取り組み -----	11
■ 安全への取り組み -----	13
■ ボランティア活動 -----	15
■ 緑化活動 -----	16
■ 従業員とのかかわり -----	19
■ 新しい取り組み -----	20



トップインタビュー 「挑戦する気持ち、そしてアクション」

取締役会長 横山正明 代表取締役 横山淳平 対談

～創業60周年を迎えて会長・社長に対談をお願いしました～

～創業60周年を迎えるにあたって～

まずは、横山正明会長に創業当時の思い出と、その後の会社の歩みをお伺いしました。

【会長】

1959年(昭和34年)初代社長横山倉一創業。新港の菊月船宿の倉庫を借り、古紙問屋を開業しました。そんな時、ある会社社長宅で家財道具の片付けを手伝うことになりました。処分する物の中に、有価な物を見つけ、古道具屋に売り、それなりの代価を得ました。その会社の社長に、その内のいくらかをお支払いする。そんな真面目なやり方が社長の信頼を得たのでしょう。それから、その会社の紙くず、鉄くずを引き取るようになりました。

一方、N社の工場から発生する紙袋の整理を請け負う業者からその権利を得て、N社との取引が始まりました。この頃は、敷地が狭く、自宅近くのお寺の援助を受け、境内で紙袋の整理をさせていただいた。このお寺には、風呂を借りたり、随分と助けていただきました。

初代社長倉一は、借入れをして南野中に土地を求め建屋を建て、同時に有限会社横山商店を設立しました。

時代は移り、私が高校を卒業して家業を引き継ぎます。24歳で妻、故・喬子と結婚して1女1男を授かります。

昭和48年初代社長倉一は62歳で他界し、生前の借財は、土地建物を売却しても残りました。それでも、西隣の倉庫を借りて事業を続けました。↗

30歳で中広東沖に土地を求め、建物を建てたが費用はすべて借りました。当時の銀行がよく融資をしてくれたと思います。

移転後6年間は苦労の連続でした。

この地で再生問屋を営むうちに、赤穂市美化センターから市内の病院の事業系一般廃棄物を引き取って欲しいと依頼がありました。前後してY社からポリタンク(20ℓ入り)の処分の打診を受けます。処分先が分からなかったが、加西市に廃プラスチック類を溶融してプラグイ(プラスチック製のくい)を作る所を見つけます。協同組合制のため、組合員にならないと引き受けできないと返事をもらい、組合員となり、処分先を確保することが出来ました。

次に兵庫県産業廃棄物収集運搬業の許可を取得するため知人や友人に知恵を借りました。↗



代表取締役 横山 淳平
取締役会長 横山 正明

こうして、産業廃棄物、一般廃棄物の収集運搬許可を取得し、今現在に至っております。鉄くず、紙くずだけではもうとくに命はなくなっていたらと思うます。それ程薄利多売の業界でした。その後も広島県福山市のM社のご協力で、数々の収集運搬業の許可も広げることが出来ました。

人生は3度チャンスがあるというが、その裏には数々の人達の手助け、援助、サポートが存在します。それをどこで、誰にお返しするかは人それぞれに違うが恩を忘れずに常に感謝の心を持って日々を過ごしたいと思います。

続いて、代表取締役横山淳平に創業60周年を迎えての気持ちをお伺いしました。

【社長】

つきなみですが紆余曲折あり、現在に至るといったところでしょうか。

廃棄物処理という業種を会社の柱に据えると覚悟を決めるまで、あらゆることに挑戦しては失敗しての繰り返しで。そういう意味では現会長が社長時代は色々ありました。子どもながらにそんな会社の状態を端で見ていてヒヤヒヤしていました。

しかし、それだけ失敗してもあきらめず新たに挑戦する気持ちは、今の私たちが見習わなければいけない大切な部分だと思っています。今年の社内スローガンであります「挑戦する気持ち、そしてアクション」もそんな気持ちを忘れないために掲げさせて頂きました。だからといって、さすがに失敗しても良いとは思いませんので、準備万端にすることも大切です。

～横山サポートテックの当面の課題と対応策について
どのようにお考えですか？～

【会長】

この赤穂市で、横山サポートテックは、産業廃棄物については確立されておりますが、西播磨、兵庫県においてどんどんと営業範囲を広げて信頼を得ることも課題だと思えます。また、産業廃棄物業界のPR、社会貢献が、私たちの掲げている使命かと思えます。業界の地位のアップも絶えず頭に置いておかないと思えます。



【社長】

やはり人材不足ですね。単純に人数もそうですが、私たちの仕事は入社して直ぐ出来るほどシステムとして確立していません。これは私たちがシステムの確立を怠っていると言うことではなく、業種自体が未だ成長途中といえます。廃棄物と一言で言ってもありとあらゆる性状のものが有り、同じ材質のものでも発生行程が違えば処理も異なります。廃プラスチック類と言っても工場からの発生だとマテリアルリサイクル(※1)できる可能性があります、散々使用した後の廃プラスチック類はマテリアルリサイクルがほとんど不可能に近いなど、簡単な例を出しましたがこういうことは全ての廃棄物に言えることですので、どうしても経験が重要になってきます。そういう意味で私は「人材」はまさに「人財」だと考えています。ですので、みんなには少しずつでも構わないのでスキルアップを意識して仕事をして下さいとお願いしています。まちがいなく、それが会社の力になるわけですから。↗

～業界を取り巻く状況もかなり変わってきていますが、
将来への対応についてどのようにお考えですか？～

【会長】

時代との対応、これからの先読み、先進的な処理方法の研究やネットワーク作りを今からやっておかなければと思います。やるからには、パイオニアでなければ意味がないので。

【社長】

何かの雑誌で見たのですが、今後20年でなくなる業種に廃棄物処理業が挙がっていました。これは人間が機械に取って代わられるという意味です。あながち間違いではないと思いますが、少し違うと思います。どの業種でもAIやIOTが今後普及していくと思われませんが、仕事の中での危険、汚い、きついという大変な作業が機械、ロボットに置き換えられる可能性があるとは思っています。ですが喜んでそんな作業をする人がいますか？

ロボットが代わりにしてくれるならどうぞどうぞ、ではないでしょうか？そういった時代になる為には、先ほども言いましたが人間が廃棄物の性状や処理方法を確立することが不可欠なのです。システムの確立ですね。そこに行くまではまだまだ課題はたくさんありますからね。

～CSR報告書2号発刊となりますがCSRについてどの
ように考えておられますか？～

【社長】

大変良いことだと思います。私たちがやっていることが広く皆さんに分かりやすく伝わりますので。どうしても世間一般には伝わりづらい業種だと思いますので私たちが仕事することで地域、ひいては地球の環境の保全に役立っていることを分かって欲しいです。それだけの自覚を持って事業をしていますので。↗

～若手社員に対して望むことは何でしょうか？～

【会長】

社長には、社員が勤めていて魅力ある会社と思うにはどうするのか、10年20年働きつづけたいと思えるためには、どうするのか、を常に考えて会社を作ってほしい。

【社長】

何事にも好奇心を持ってもらいたいです。自分の知らない新しいことに接するとき、不安に思う気持ちも分かりますが、若いときは知らないことが大半ですから面倒くさがらず、その状況を楽しむくらいの気持ちでいてほしいです。好奇心は大切だと思います。

～最後に思っておられること、伝えたいことがあれば
お願いいたします。～

【会長】

創業60年になりますが、ここまで順風満帆で来られたわけではありません。絶えず、誰かの助けが働いていることを忘れず、コンプライアンスの精神で、従業員の幸せを願い、事業の本質を忘れず、お客様あつてのYSTを肝に銘じ10年先20年先を見据えていくことが大事だと思います。

【社長】

最近では自主的に動いてくれる社員が増えてきて大変うれしく、頼もしく感じています。

CSR報告書もそうですが、廃棄物処理についても徐々にではありますが、自分たちで搬入と搬出を管理してどうにか現場をスムーズに稼働させようと試行錯誤しています。実際はまだですが、継続していくことで新たな可能性は必ず見えると思います。一緒に頑張っていきましょう。



※1 マテリアルリサイクル 製品を原料として再生利用(リサイクル)すること

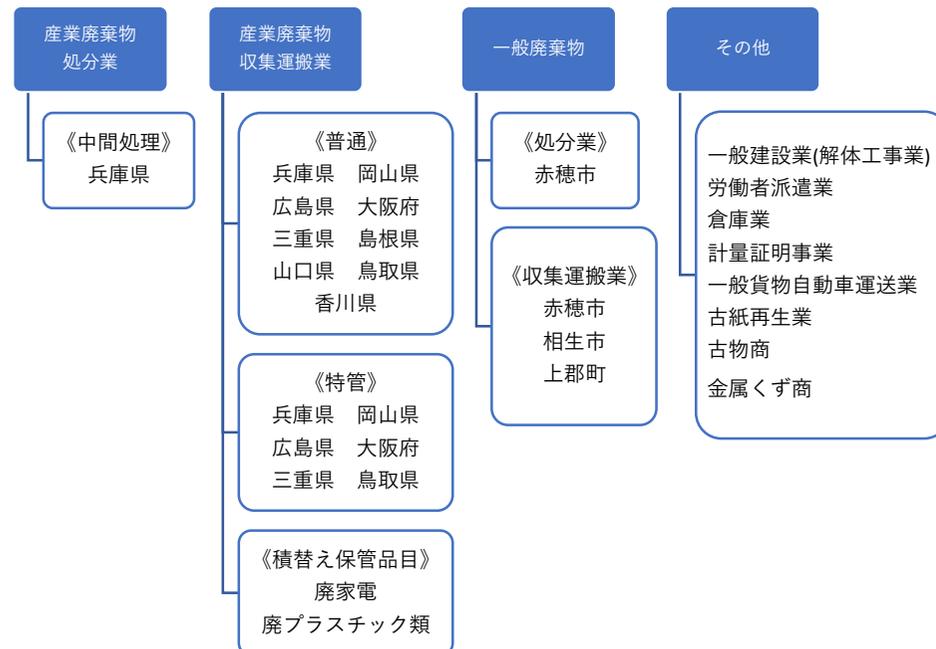
会社概要

名称	●株式会社横山サポートテック
代表者	●横山淳平
所在地	●兵庫県赤穂市中広1370番地の1 ●TEL 0791-43-5328 ●FAX 0791-43-6568
創業	●昭和34年12月
設立	●昭和41年3月
資本金	●1,000万円
従業員数	●60名
取引銀行	●中国銀行赤穂支店 ●みなと銀行赤穂支店 ●トマト銀行赤穂支店
加入団体	●一般社団法人兵庫県産業資源循環協会 ●一般社団法人岡山県産業廃棄物協会 ●兵庫県解体工事業協会
ホームページ	● http://www.yst21.co.jp
メール	● info@yst21.co.jp

事業内容

- 産業廃棄物処理業
- 一般廃棄物処理業
- 資源リサイクル業
- 土木工事業
- 人材派遣

許可一覧



保有設備

破碎機



(処理能力)
 廃プラ 4.56 t/日
 がれき 14.96 t/日
 木くず 5.60 t/日

ベアラー機



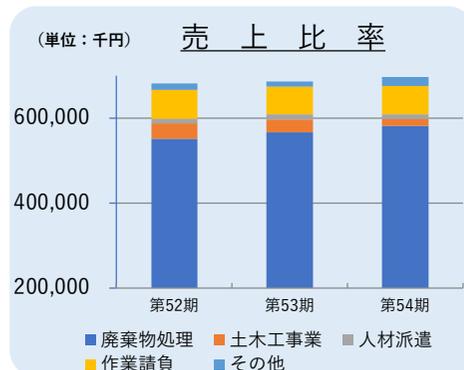
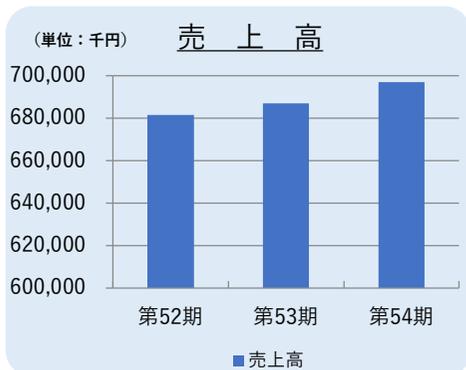
(処理能力)
 紙くず 89.6 t/日
 廃プラ 37.1 t/日

スチロールポスト



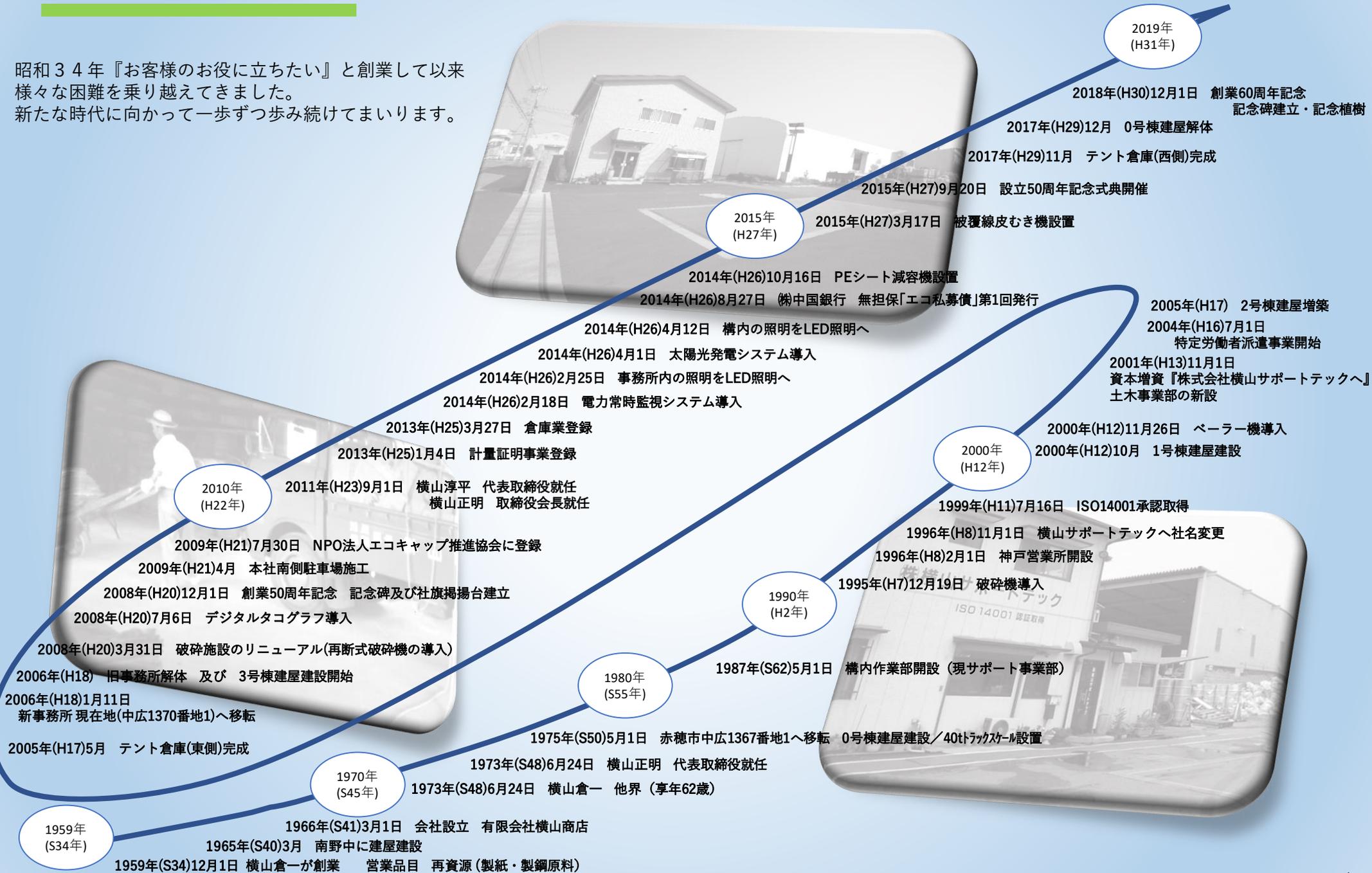
(処理能力)
 0.186 t/日

財務情報



会社の歴史

昭和34年『お客様のお役に立ちたい』と創業して以来
 様々な困難を乗り越えてきました。
 新たな時代に向かって一歩ずつ歩み続けてまいります。



環境マネジメント

環境方針

横山サポートテックは、風光明媚な瀬戸内海を南に望み、兵庫県随一の清流である千種川のほとりに位置しており、この豊かな環境の保全に努める事を重要課題としています。

私達は廃棄物の収集運搬、中間処理の業務を行うに当り、社会的責任を認識し、地域への貢献を通じて、地球及び地域環境の保全に取り組みます。

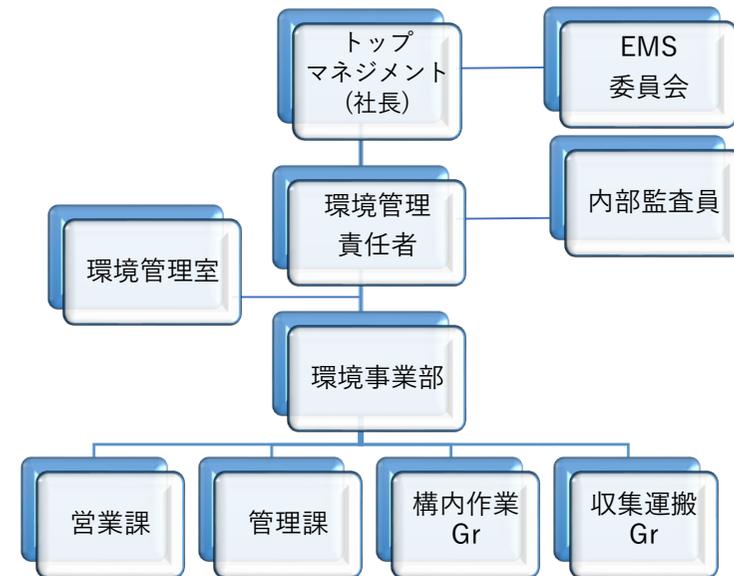
1. 豊かな自然との共生を求め環境に配慮した日常生活と、廃棄物処理業を持続するため、環境関連の法律、条例、協定及び業界の要求事項を明確にし、環境目的、目標、プログラムを定め定期的に見直し、環境保全活動の継続的な改善を図ります。
2. 廃棄物を適正に処理、リサイクルするため、「法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項」を順守するにとどまらず、自主基準を制定し一層の環境保全に取り組みます。
3. 排出事業者様に最適なりサイクル方法を提案することはもちろん、徹底した廃棄物の分別を行う事により、資源リサイクル率を向上させ、火災・震災などの緊急事態が発生した場合も含め、環境に与える影響を可能な限り抑制し、環境保全と汚染の予防に取り組みます。
4. 地域の人や環境との調和を目指し、全従業員が地域社会における環境美化の促進に努めます。

平成25年2月21日
株式会社横山サポートテック
代表取締役 横山 淳平

環境マネジメント推進体制

当社では『環境方針』に基づいて、環境側面を決定し「環境目標」を策定しています。
その目標に対して、各課・Grでは「環境マネジメント実施計画」の策定を行い、その活動報告を「EMS委員会」にて議論し目標達成に向けて活動を行っています。

環境マネジメント組織図



(適用範囲)

- 環境事業部の事業活動である廃棄物処理業
 - ・特別管理産業廃棄物収集運搬
 - ・産業廃棄物収集運搬及び中間処理（破碎・減容・圧縮）
 - ・一般廃棄物収集運搬及び中間処理（破碎・減容・圧縮）
 - ・資源リサイクル
- 等に関連する諸活動に適用する

環境マネジメント実施結果

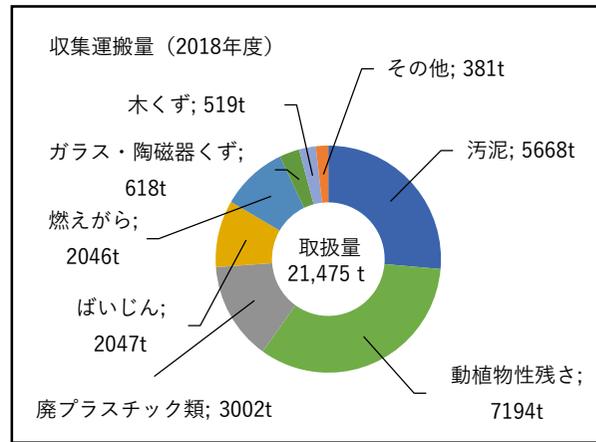
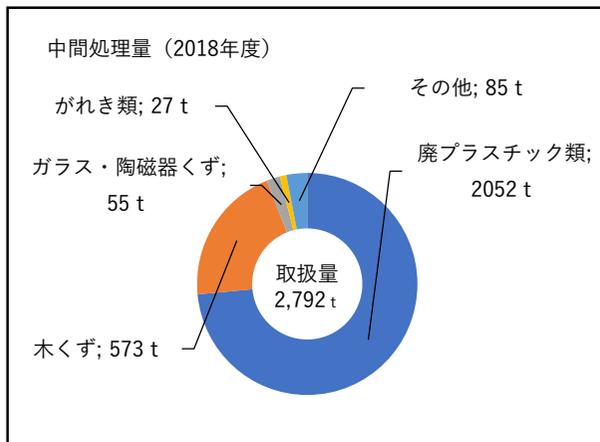
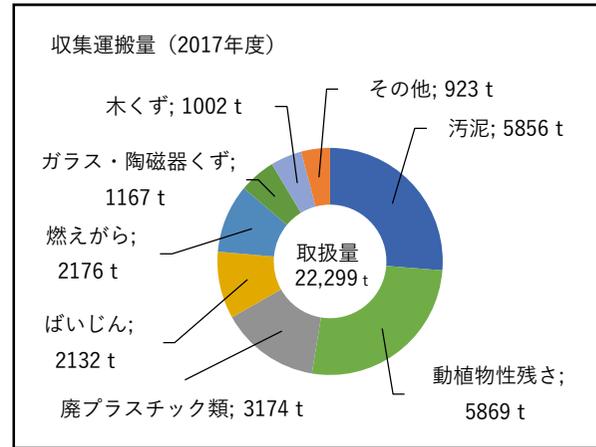
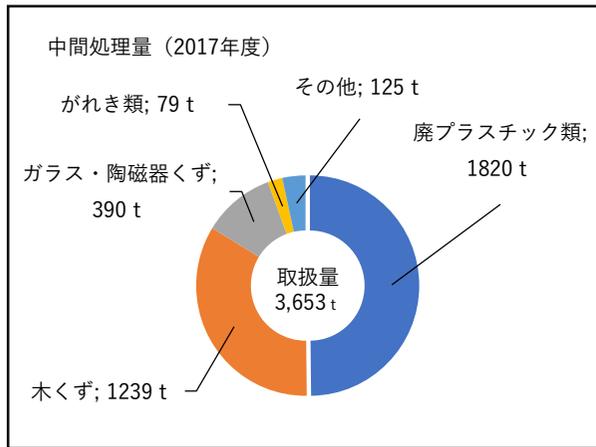
年度	目 標	実施結果	次年度以降の対応
2018	効率の良い収集運搬を実施するため、燃費を前年対比1%UPする	目標達成 前年対比 102.8%	今後も管理していく
	構内在庫量を管理し、リフトの1時間当りの取扱重量を前年対比2%UPする	目標達成 前年対比 119.5%	今後も管理していく
	排出事業者様への提案により、取扱量（収集運搬含む）を1%UPする	目標達成 前年対比 113.4%	2019年度も取り組んでいく
	ホームページで緑化・環境美化・安全衛生活動などを紹介し、当社を広く知っていただき、閲覧件数を前年対比10%UPする	目標達成 前年対比 119.8%	今後も管理していく

年度	目 標	実施結果	次年度以降の対応
2017	効率の良い収集運搬を実施するため、燃費を前年対比2%UPする	未達成 前年対比 101.4%	2018年度も取り組んでいく
	構内在庫量を管理し、リフトの1時間当りの取扱重量を前年対比2%UPする	目標達成 前年対比 110.2%	2018年度も取り組んでいく
	排出事業者様への提案により、取扱量（収集運搬含む）を1%UPする	未達成 前年対比 100.0%	2018年度も取り組んでいく
	ホームページで緑化・環境美化・安全衛生活動などを紹介し、当社を広く知っていただき、閲覧件数を前年対比10%UPする	未達成 前年対比 99.6%	2018年度も取り組んでいく

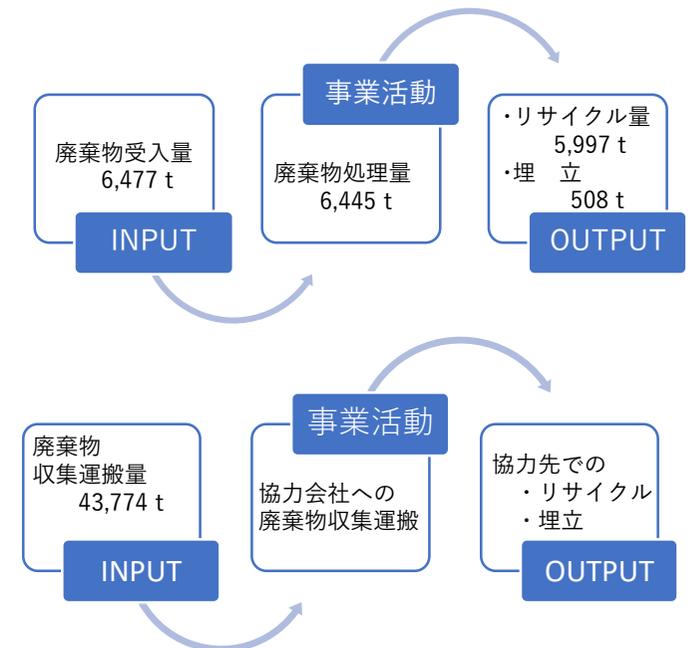
環境へのかかわり

産業廃棄物取扱量の推移

当社で取り扱う、産業廃棄物の収集運搬量と処分量についての概要です。

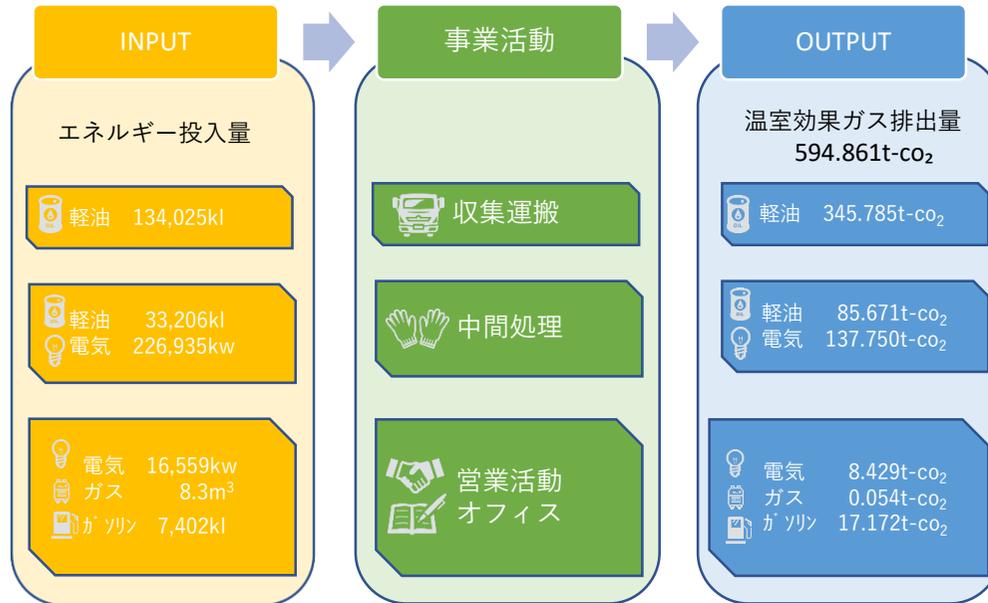


産業廃棄物処理フロー (2017.3.1~2019.2.28)

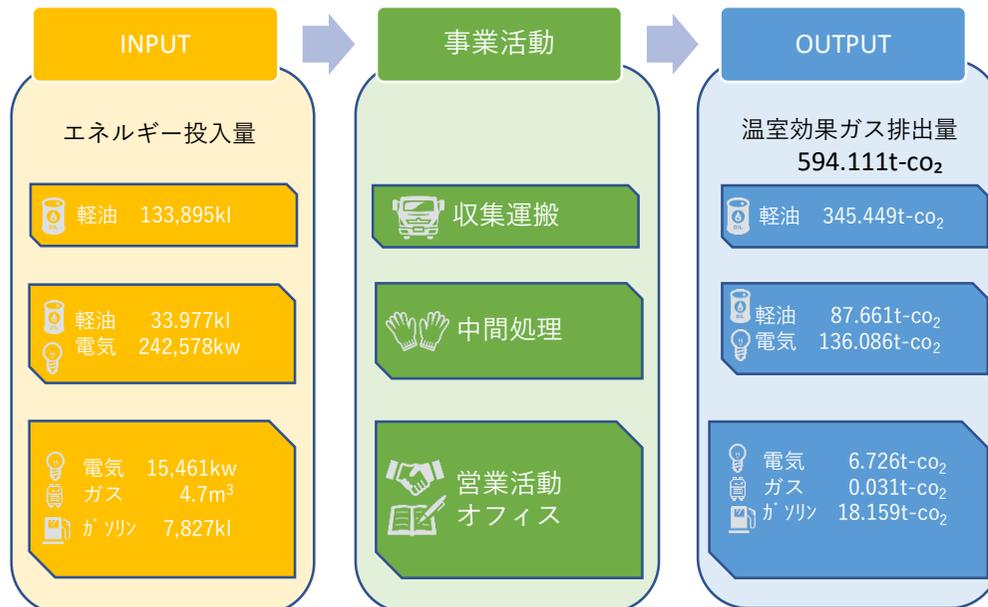


環境負荷について

マテリアルバランス(2017年3月～2018年2月実績)



マテリアルバランス(2018年3月～2019年2月実績)



環境データ

高圧電力



オフィス電力



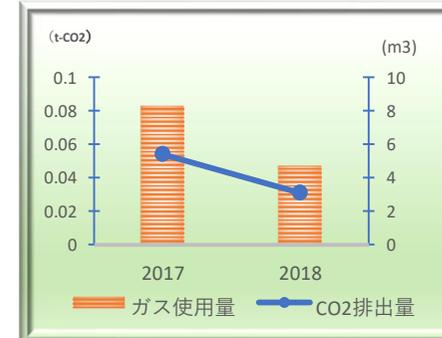
ガソリン



軽油



ガス



CO2総排出量



環境への取り組み

平成29年度関西エコオフィス大賞奨励賞受賞

弊社は身近なところからの省エネルギー等の取り組みを実施する事業所として、平成24年3月30日に「関西エコオフィス宣言事業所」を宣言し、地球温暖化防止活動の裾野を広げていく「関西エコオフィス運動」に取り組んできました。「エコオフィス大賞」とは、関西エコオフィス宣言事業所のうち、特に優れた取り組みを行っている事業所を表彰するもので、この度「平成29年度関西エコオフィス大賞奨励賞」を受賞いたしました。

受賞のポイントとして、グリーンカーテンの設置にあたり、自社内で苗を作り、雨水を利用して簡単に水遣りができるようにするなど、費用と手間を抑える工夫をしている点が評価されました。また、近隣幼稚園と共に活動するなど、他事業所への普及にも努めていることから、他への波及効果が期待できるとのことでした。

こちらでは、関西エコオフィス大賞の取り組みレポートを抜粋してご紹介させていただきます。



主な取り組み項目

グリーンカーテンを設置し、遮熱効果により温度の上昇を防ぎ、エアコンの電力量削減に取り組んでいる。また、自社で発芽させた苗を近隣幼稚園に配布するなど、地域と連携して緑化活動を実施している。

取り組みの具体的内容

- ・花壇で栽培した花の種を近隣幼稚園の園児に配布しています。
- ・グリーンカーテンから採取した種を自社で発芽させ、近隣地域の保育所や取引先企業様へ配布し地域の緑化を推進しています。
- ・近隣幼稚園の園児のみなさんと一緒にグリーンカーテンの苗を植え、緑化に対する意識を高める活動を行っています。

ひまわりのたね

〇〇〇〇幼稚園の皆さまへ

昨年、横山サポートテックで採れたひまわりのたねです。園の皆さまもよろしく育てて下さい。

平成〇〇年〇月
(株)横山サポートテック
管理部



ひまわりの種・ゴーヤの苗
と一緒に配布したカード

～夏の暑さを軽減して、エコな活動



しませんか？ゴーヤの苗プレゼント！～

いつもお世話になりありがとうございます。

毎年、事務所の壁を利用して、グリーンカーテンにチャレンジしています。省エネ効果も期待し、少しでも事務所が涼やかになればと活動しています。今年は悪いのほかに皆さんの種が発芽しましたので、あなたもグリーンカーテンに、チャレンジしてみませんか？(株)横山サポートテック

他事業所への波及の可能性

- ・グリーンカーテンにおいては、8年前から取り組みを継続していますが、社内活動のみにとどまらず、地域の皆様にもグリーンカーテンの良さを知って頂こうと自社で発芽させたゴーヤの苗を配布する取り組みを行いました。これにより配布先での栽培を促したり、また近隣幼稚園の園児のみなさんと一緒にグリーンカーテンの植え付け作業を行う取り組みも行っています。
- ・グリーンカーテンは、苗・土・プランター・ネットを用意するだけで手軽に栽培ができます。種を採取して苗を作れば翌年からは苗の購入がなくなり、プランターやネットも再利用できるので、土のみ用意すれば、低コストでの栽培も可能になります。散水用の水も雨水を利用することにより、更にコストを抑えることができます。
- ・水やりは、当番を決めて順番に行えば、個人の負担も軽減されます。



近隣幼稚園にて
ゴーヤの苗植え活動



配布先商店様の
グリーンカーテン

取り組みにおいて創意工夫した点

- ・グリーンカーテンにおいては、設置当初はプランター4個からスタートしましたが、今ではプランターの数も22個となりました。事務所だけにとどまらず、作業員の休憩場所にもグリーンカーテンの範囲を拡大することにより、遮熱効果も倍増しています。栽培する植物に関しても、花の咲くつる性の植物やメロンなどの果物、カボチャなどの野菜等を植え、見ても楽しく華やかになるようにしています。
- ・緑化活動で地域に貢献できないかと考え、当社で採取した種から苗を作り、地域の皆様に配布する取り組みを今年度からスタートさせました。
- ・水やりは、雨水を出来る限り使用し、散水できる仕組みを取り入れました。倉庫の雨どいからタンクに水を溜め、高低差を使ってホースで水やりをしています。ホースは穴のあいたものをプランターにはわせているので、雨水タンクの蛇口を開くだけで散水ができて水やりにかかる時間を短縮できるようになりました。

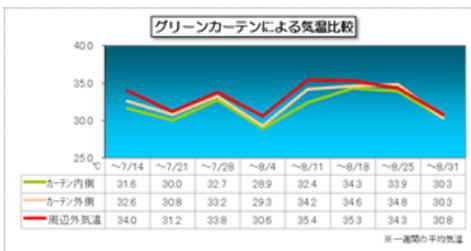


雨水タンク



効果

- ・グリーンカーテンの設置後は強い日差しを遮り、温度の上昇を防ぎ、エアコンの電力量も前年度より削減されており、Co2の排出を抑制できております。
- ・グリーンカーテンの周囲で温度計測を行ったところ、カーテンの内側はもちろんのこと、表面においても気温が低くなっており、緑化を推進することで、温暖化の抑制にもつながっております。



エアコン電力の削減

期間	当年	前年	削減
7月	599	671	-72
8月	444	556	-112
9月	182	303	-121

(kwh)

その他環境に配慮した取り組みについて

- ・適正冷暖房温度の設定
- ・節電の励行
- ・節水の励行
- ・省エネ・新エネ設備機器等の導入
- ・グリーン購入の推進
- ・エコドライブの励行
- ・ごみの再資源化
- ・CSR活動等



クリーンキャンペーン



デマンド監視システム



太陽光発電

レポートに関しては弊社ホームページ（アクティビティレポート内のアーカイブより2018年3月を選択してください）をご覧ください。



詳細はこちらをご覧ください。



横山サポートテックホームページ



安全への取り組み

従業員から安全標語を募集し、選抜された標語をポスターにしております。
工場内に掲示し、安全への意識を高めています。
ポスターのモデルは、標語の作成者です。





(その他、安全への取り組み)

- ・緊急時訓練実施・・・本社において、火災という想定で緊急時訓練を実施しています。
- ・安全衛生会議・・・月一回各課・Grの責任者が集まり安全に係る会議を行っています。
- ・ヒヤリハット・・・各課・Grでヒヤリハットを話し合っ安全会議で発表しています。
- ・業務改善提案・・・業務に関する改善を日々行っています。
- ・安全パトロール・・・月一回（本社）の安全パトロールを行っています。
- ・チャレンジ100・・・兵庫県安全協会と交通安全協会が行っている、無事故無違反運動に参加しています。



ボランティア活動

清掃美化活動



加里屋川清掃

- 「加里屋川ふるさとの川整備連絡協議会」主催の清掃活動に毎年従業員とその家族が参加。周辺地域や企業から参加されたボランティアの方々と共にキレイな川を守る活動ができることを嬉しく思います。



赤穂クリーンアップ大作戦

- 『5月30日』を“ゴミゼロの日”とする語呂合わせにちなみ「赤穂商工会議所環境衛生・ものづくり委員会」主催のゴミ拾いに、毎年清掃隊員として参加。この活動は弊社の会長が発起人で平成19年より継続中。



クリーンキャンペーン

- 月に1回、定期的に事務所周辺の清掃活動を実施。月に1回という少ない回数ではありますが、地域の美化に貢献できるよう活動を続けていきたいと思っております。



赤穂港清掃

- 年に1回、赤穂港や海岸の清掃を実施。港や夏が過ぎ去った海岸には、ポイ捨てされた大量のゴミがあり、かなりの量が回収されております。ポイ捨てされない環境を目指し、今後も清掃活動を行って参ります。



舞子公園清掃

- 兵庫県産業廃棄物協会青年部主催の「舞子公園清掃ボランティア」に参加。昨年は台風の通過後の為、例年に比べゴミの量が多く参加された皆さんの努力で公園内のゴミを回収することができました。

緑化活動



グリーンカーテン

- 毎年夏には事務所の節電対策の為、グリーンカーテンを栽培しています。
※グリーンカーテン栽培の詳細については17, 18ページをご覧ください。



緑の輪を広げよう

- 緑化の輪を広めようと、社内で発芽させたゴーヤの苗や花壇で栽培した向日葵の種等をお客様にプレゼントをしたり、地域の幼稚園や保育所の園児達と一緒にゴーヤの苗を植える活動も行っています。



植樹ボランティア

- 赤穂市の「さくらの名所復活大作戦」という桜の植樹ボランティアを実施。城南緑地公園内のテニスコート横に八重桜の苗木を5本植樹。訪れる方々の目を楽しませてくれるでしょう。



緑の募金

- 休憩時のコーヒー代を、「公益社団法人兵庫県緑化推進協会」へ毎年寄付。わずかな募金ですが、様々な緑化活動の助けになることを願っています。



花壇

- 毎年季節ごとの花を觀賞できるように整備を行っています。
•平成30(2018)年12月には創業60周年目を迎え、さくら(ソメイヨシノ)の木を植樹し、花壇を一新しました。



緑のカーテンコンテスト優秀賞2年連続受賞

「播磨圏域連携中枢都市事業」の緑のカーテンコンテストに応募し、2年連続で団体部門の優秀賞を受賞いたしました。
緑のカーテンコンテストの取り組みレポートを2年分ご紹介させていただきます。

平成29年度

ご自慢ポイント

昨年弊社で育て採取したゴーヤの種を利用し、種から発芽させることにチャレンジしました。1週間程で発芽した種をポットに植えるとぐんぐん成長し、弊社で使用する予定数を超える数の苗ができました。そこで市内の幼稚園・保育園・託児所・企業様に苗をプレゼントし、植えていただきました。プレゼントした皆様より、続々とグリーンカーテンの便りが届いています。

また「地域と連携した緑化活動」と題して、幼稚園へ苗を配り一緒に植える活動は今年で2回目になります。一緒に植えることで緑の大切さを知ってもらえたらと考えています。このように弊社からグリーンカーテンの輪が広がっていることを感じ、うれしく思っています。



「ご自慢の一枚」写真

カーテンの効果

弊社の事務所・喫煙所は、夕方に西日が直接当たる場所にあります。そこで西日が当たる側にグリーンカーテンを設置しました。結果、夏場の強い日差しを和らげる働きをしてくれています。直射日光が当たる箇所が減ったことで、以前よりも涼しく感じます。また、ゴーヤやアサガオの花が鮮やかで美しく、社員の目を楽しませてくれています。



育成の創意工夫

ゴーヤとフウセンカズラを利用してしおりを作成しました。ゴーヤの花の黄色と葉の緑色の色合いが鮮やかで、夏らしい作品になりました。ゴーヤの実もポイントになっています。このしおりを日頃お世話になっているお客様に配布し、弊社のグリーンカーテン活動を広く知って頂こうと思っています。

収穫したゴーヤは社員が持ち帰り調理しました。大きく育ったゴーヤが、社員の食卓にも夏を運んでくれています。

取組全体の感想

苗をプランターに植え替えてからは、肥料やりや摘心をこまめに行い、休日は社員が当番制で水やりを行うなど一致団結し取り組むことが出来ました。今年のグリーンカーテンは思っていたよりも茂りませんでしたが、夏の風物詩として弊社を利用される皆様の目を楽しませてくれています。お客様との会話の中にもグリーンカーテンの話題が出るなど、弊社の活動によってグリーンカーテンに興味を持つ方が増えている印象があります。

弊社だけではなく、市内の幼稚園や企業様等に協力していただき取り組んだグリーンカーテン活動。地域に少しずつ広がっているこのエコな活動を、今後も弊社から発信しさらに広めていけたらと思っています。



平成30年度

平成30年度は、弊社応接室にて表彰状と記念品の授与が行われました。



ご自慢ポイント

休憩所のグリーンカーテンがネット全体を覆い日差しをよく遮り、猛暑で消耗した社員の体力回復に役立ちました。

今年も昨年採取したゴーヤの種を自社で発芽させ、弊社のグリーンカーテンに使用することはもちろん、市内の託児所・保育園・幼稚園・企業様へゴーヤの苗を配布し、グリーンカーテンを広める活動を行いました。

今年、初めてゴーヤの植え付けを行った保育園では、2歳児の園児たちが小さな手で一生懸命植えてくれました。

今回で3回目となる幼稚園では、ゴーヤの植え付けを楽しみに待っていただいていたようで、園児達と一緒にグリーンカーテンの栽培に取り組めることを嬉しく思っております。



「ご自慢の一枚」写真

カーテンの効果

グリーンカーテンを設置することにより、カーテンの内側と外側では10℃の差が出る日もありました。カーテンにミストを併設し休憩時間にミストを使用したところ、周辺気温が更に下がり猛暑の中でも休憩場所として、涼しくより快適に過ごすことができました。

また、内側からみると、優しい緑の色と木漏れ日がきれいで、社員を癒してくれました。



育成の創意工夫

昨年はグリーンカーテンの茂りが悪かったので、ゴーヤの苗を植える1週間前から土づくりを始めました。あさがお等の花と一緒に植えず、ゴーヤのみ栽培しゴーヤに最大限栄養分がいくようにしました。

しかし連日の猛暑により成長が悪く葉が小さめだったので、ある一定の高さの所でツルを折り返すなど、カーテンの密集度をあげるように工夫しました。また、2週間おきの追肥・根切り・土を足す等成長を促しました。

実ったゴーヤは、社員が持ち帰り美味しくいただきました。花や葉は摘んで押し花を作り、グリーンカーテン活動に関心を持っていただけるよう、お客様へ配布する予定です。

取り組み全体の感想

今年で9年目の栽培となりますが、なかなか思うようにツルが茂らず、毎年試行錯誤の連続です。

今年は猛暑の為成長が悪く、ツルの誘引など毎日の手入れや水やりが大変でしたが、少しでも大きく育つようにみんなで協力し合って栽培に取り組むことができました。

グリーンカーテンを広める活動では、ゴーヤの苗を心待ちにしていच्छるお客様がおり、地域の方々に徐々に広がりを見せています。今年は種の採取にも力を入れ、来年はより多くの方にゴーヤの苗をプレゼント出来るよう、最後まで愛情を込めて栽培ができました。

弊社のグリーンカーテン活動を知っていただく為に、ホームページで成長記録を紹介しています。今年は弊社のマスコットキャラクターの3Rちゃんと一緒に写真を撮り、ホームページで紹介することで、より親しみを持っていただき、グリーンカーテンの輪がさらに広がることを願っております。



従業員とのかかわり

創業60周年記念行事



平成30年12月1日に、社員とその家族を招待し、創業60周年記念行事を執り行いました。会長と社長による桜の記念植樹から始まり、ボーリング・食事会と、楽しいひとときを過ごしました。創業70周年に向け、今後もより高みを目指し、社員一丸となって邁進して参ります。



桜の苗木を植樹しました



相生スカイレーンにて
ボーリングを楽しみました



赤穂ロイヤルホテルでの
食事会と表彰式の様子



創業60周年記念品の
モバイルバッテリー

新しい取り組み

制服の変更



約18年ぶりに制服を一新しました。鮮やかなブルーを基調とした清潔感のある色味と、機能性に優れたデザインになりました。

また、男性用の制服はエコマーク対応商品を採用しております。エコマークとは、環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベルです。弊社では、文具等もエコマーク製品を積極的に使用しており、身近なところから環境に優しい取り組みを行っています。

はたらくくるま大集合



赤穂海浜公園にて年に2度開催されている「はたらくくるま大集合」に弊社のパッカー車が参加しています。

今年度からは、表面は弊社が所有しているはたらくくるま、裏面が3Rちゃんの塗り絵になったチラシや、パッカー車のペーパーラフトを配布する取り組みを始めました。当日来られたお子さまだけでなく、大人の方にもとても喜んで頂きました。

3Rちゃんマスコット



弊社オリジナルキャラクターの3Rちゃんが、ぬいぐるみになって新登場しました。大きいサイズの3Rちゃんはタオル地で製作しており、かわいさだけではなく、さわり心地も抜群な仕上がりになりました。

弊社受付にて、皆様のお越しをお待ちしています。また社外イベントの際は、その会場に出張することもあります。かわいい姿を皆様に見ていただけることを楽しみにしております。

ホームページリニューアル



皆様により見やすく、よりわかりやすいホームページを目指し、平成29年9月に新しく生まれ変わりました。ブログ（InformationとActivityReport）にて最新情報を随時更新しております。ぜひご覧ください。

<http://www.yst21.co.jp>

yst21 検索





役に立てる喜びが
私たちの
あす
未来への活力です





編集方針

●環境報告書2019は、株式会社横山サポートテックの環境に対する取り組みをまとめたもので、利害関係を有する方々に正確にわかりやすくお伝えする目的で発行しました。

報告対象期間

●2017年3月～2019年2月

本報告書に記載している活動実績については、2017年度及び2018年度の活動を中心に報告していますが、一部それ以前の活動等も含んでいます。

報告時期

●2019年4月



表紙の写真は、本社花壇のネモフィラです



株式会社 横山サポートテック
●お問い合わせ先
管理部 管理課
TEL:0791-43-5328 (代表) FAX : 0791-43-6568
<http://www.yst21.co.jp>